



**AIRLINE TICKET**

THE NATIONAL MUSEUM OF WESTERN ART

FLIGHT: JUNIOR PASSPORT

FROM: TOKYO

TO: BRETAGNE

DATE: MARCH 18

DEPARTURE: 9:30

GATE: 27

19E

**BOARDING PASS**

THE NATIONAL MUSEUM OF WESTERN ART

DATE: MARCH 18

FROM: TOKYO

TO:

La Bretagne, source d'inspiration : regards de peintres français et japonais

# JUNIOR PASSPORT

BRETAGNE

国立西洋美術館  
The National Museum of Western Art

「憧<sup>しょうけい</sup>の地 ブルターニユ  
ーモネ、ゴーガン、黒田清輝<sup>せいき</sup>  
らが見た異郷<sup>いきょう</sup>」展へ  
ようこそ！

19世紀になってから、多くの画家たちが、フランスのブルターニユという地方を訪れ、そこの自然や人々などを描きました。この展覧会<sup>てんらんかい</sup>では、そうした画家たちによる作品を160点ほど紹介します。ブルターニユは、なぜ、それほどまでに多くの画家たちを引き付けたのでしょうか。このジュニア・パスポートを手<sup>て</sup>に、作品からその謎を探ってみましょう！

えんぴつは受付で借りられるよ！



# ブルターニュって どんなところ？

みなさんには、いつか行ってみたい場所がありますか？

19世紀になると鉄道などの交通機関が発達し、人々にとって、旅行はより身近になりました。そして多くの画家たちが、フランスの北西にあるブルターニュと呼ばれる半島を訪れました。ブルターニュには古代の遺跡や昔ながらの風習が残っていて、人々は「ブルトン語」という独特の言葉どくとくを話していました。豊かな自然もあり、ブルターニュは、都会のパリで暮らす画家たちの興味を引く土地きょうみだったのです。画家たちが描いた、ブルターニュのさまざまな地方を旅しながら、あなただけの「旅の記録」を残してみましよう！

# ブルターニュの風景

地図のオレンジ色部分の展示室には、ブルターニュの自然を描いた風景画があります。気になる作品を1点選んで、その絵をじっくり見てみましょう。

No.34



No.36



No.40



No.43



フロアマップ

紹介している作品の場所は、すべてこの地図にのっているよ!



34 ウジェーヌ・ブーダン《 prest, 停泊地》(部分) 1872年 油彩/カンヴァス 愛媛県美術館 36 クロード・モネ《ボールドモフの洞窟》(部分) 1886年 油彩/カンヴァス 茨城県近代美術館 40 ボール・シニャック《グロワ》(部分) 1920年代(?) 鉛筆、水彩、グアッシュ/紙 国立西洋美術館 松方コレクション 43 オディロン・ルドン《風景》(部分) 油彩/カンヴァス 岐阜県美術館

## 旅の記録 1

何が見える?

( ) ( ) ( ) ( )

どんな音が聞こえてくる?

( ) ( ) ( ) ( )

お天気は?

( )

風は吹いている/いない) ここは(暖かい/寒い)

いま何時ごろかな?

( )



ブルターニュにやってきた風景画家(風景を描く画家)たちは、さまざまな季節や時間、天候のもと、海辺や険しいがけ、洞窟やさびしい荒れ地など、表情豊かな自然を描きました。そうした自然の風景は、画家たちを引き付けました。

# ブルターニュの人々

ゴーガンとブルターニュ



子どもたちと背景の自然が、たくさんの鮮やかな色と太い輪郭線で表現されています。少女たちが身に付けているのは、ブルターニュの小さな村、ル・ブルデュに特徴的な衣服です。この絵を描いたポール・ゴーガンは、工業化が進む都市では、人々から人間らしい心や生命力が失われていると感じていました。そして都会のパリから、ル・ブルデュや、ポン＝タヴェンなどその周辺の地域をたびたび訪れて、絵を描きました。物の値段が安かったブルターニュは、ゴーガンにとって滞在しやすい場所でもあったのです。

49 ポール・ゴーガン《海辺に立つブルターニュの少女たち》1889年 油彩／カンヴァス 国立西洋美術館 松方コレクション

## 旅の記録 2

2人の子どもが、手をつないでこちらを見えています。  
話しかけてみましょう。2人は何と答えると思いますか？

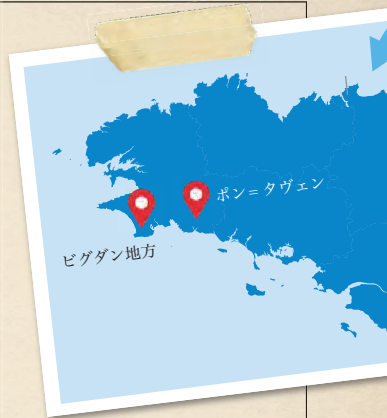


あなた

もっとお話ししてみよう。

# ブルターニュの 風習・生活

画家の中には、ブルターニュに別荘をかまえて、この土地で制作した人たちもいました。リュシアン・シモンもそうした画家の一人でした。シモンはブルターニュのビッグダン地方に家を買って、ある時期、毎年そこで夏を過ごしていました。彼は、ブルターニュの伝統的な行事や人々の日々の生活を描きました。シモンが鮮やかな色で表現した、庶民の生活や風習を見てみましょう。



## 旅の記録3

それぞれの絵は、ブルターニュの人々のどんな生活や場面を表しているのかな？

会場(地図の緑色部分)で作品をよく見て、線でつないでみてね。



●  
●  
庭の夕べ

●  
●  
お墓でお祈り

●  
●  
お祭り

●  
●  
結婚式

※答えは最後のページにあるよ！

参加してみたい場面の絵を選んで、よく見てみよう。  
なぜその絵を選んだのかな？

( )

# 日本人と ブルターニュ



現代も、日本から外国に勉強しに行く人たちがいますが、今から 100 年以上前にも、美術を学ぶためにパリに留学した、日本の画家たちがいました。そうした日本人画家たちも、パリからブルターニュ地方を訪れて絵を描きました。日本人画家たちは、ブルターニュで何を感じ、制作にはげんだのでしょうか。

この絵を描いた黒田清輝は、他の日本人画家たちと一緒に、留学先のパリからブルターニュ北部にあるブレア島を訪れ、3週間ほど、そこで過ごして絵を描きました。黒田は、海や月夜の美しさといったブレア島の様子を、日本の家族に葉書で知らせています。彼は、次の夏もブレア島に行き、海岸の景色などを描きました。

117 黒田清輝《少女》1891(明治24)年 油彩/カンヴァス 東京国立博物館  
※この作品は4月から展示されます。出典：ColBase



## 旅の記録 4

画家たちが描いた「ブルターニュ」の世界を旅してきて、どうでしたか？  
最後に、この展覧会の旅行記(旅行した感想など)を書いてみましょう。

気に入った作品の  
スケッチでもいいよ！

# 家でやってみよう！

あなたがこれまでにした旅行を思い出してみましよう。

思い出に残っている旅行の写真を、下のわくの中に貼ってみましよう。貼ったら、旅先の風景や一緒に行った人との思い出、食べ物など、印象に残っていることを、写真の周りに絵や文字で表してみましよう。

## 旅の記録 5

旅行した場所 \_\_\_\_\_

# 美術館でのマナー



**さわらない**

作品は大切に  
しましょう。



**走らない**

作品や人に  
ぶつかると危険です。



**さわがない**

静かな声で  
話しましょう。

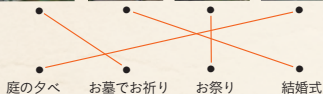


**エンピツを  
使いましょう**

作品をインクで  
汚さないように。

※このジュニア・パスポートは、小学校高学年から中学生を対象に作られています。  
それより小さいみなさんは、大人の人といっしょに使ってみてね。

## < P5 の答え >



(左から) 109 リュシアン・シモン《墓地のブルターニュの女たち》  
水彩、グアッシュ/紙 国立西洋美術館 松方コレクション 107  
リュシアン・シモン《婚礼》(部分) 1921年頃 油彩/カンヴァス 国  
立西洋美術館 松方コレクション 106 リュシアン・シモン《ブルター  
ニュの祭り》(部分) 1919年頃 油彩/カンヴァス 国立西洋美術館  
松方コレクション 111 リュシアン・シモン《庭の集い》(部分) 1919  
年 油彩/カンヴァス 国立西洋美術館 松方コレクション

表紙：40 ポール・シニャック《グロワ》(部分) 1920年代(?) 鉛筆、水彩、グアッシュ/紙 国立西洋美術館 松方コレクション

## 憧憬の地 ブルターニュ — モネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷

会 期：2023年3月18日(土)～6月11日(日)

会 場：国立西洋美術館

開館時間：午前9時30分～午後5時30分(金・土曜日は午後8時まで)

※5月1日(月)、2日(火)、3日(水・祝)、4日(木・祝)は午後8時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

休 館 日：月曜日 ※ただし3月27日(月)、5月1日(月)は開館

主催：国立西洋美術館、TBS、読売新聞社

執筆：阿部祐子 編集：阿部祐子、松尾由子(国立西洋美術館) デザイン：岩野直泰 制作：国立西洋美術館 ©2023 国立西洋美術館

 **国立西洋美術館**  
The National Museum of Western Art

展覧会について  
もっと知りたい  
人はコチラ ▶



旅行者の名前

日付

年 月 日